



アサリ

主な漁業と漁期

おかがき・ながえ：周年

生態

アサリは我が国を代表する二枚貝であり、干潟や浅海域の重要な漁業資源として知られています。

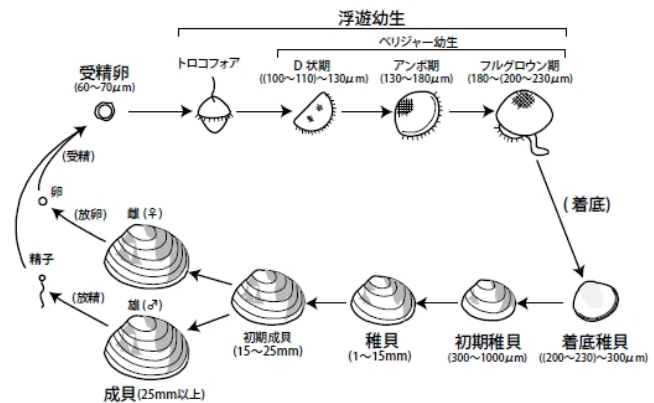
●分布

サハリンから日本、朝鮮半島、中国の沿岸に分布し、潮間帯から水深10m程度の砂礫泥底に生息しています。静岡県沿岸にも広く分布していますが、まとまった生息域としては浜名湖が有名です。

●成長・産卵

成長速度は生息環境や成長段階(年齢)によって異なることが知られており、浜名湖では殻長20mmに達するまでに概ね1年前後かかります。

浜名湖に生息するアサリの産卵期は、春と秋の年2回あります。また春は、漁獲されるアサリの身入りが良いことから旬とされています。



アサリの生活史

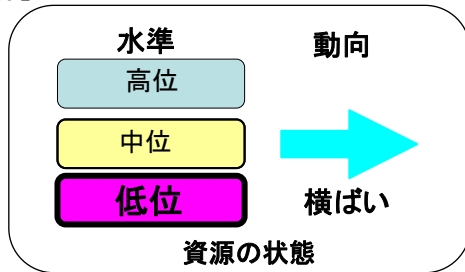
(藤井 2010,環境管理39号より引用)

●初期生活史

親貝は海水中に産卵・放精し、受精卵を経て孵化した幼生は2~4週間の浮遊生活を送ります。浮遊幼生は、体の構造を変えながら着底期を迎え、干潟などに着底して底生生活に入ります。

漁業・資源動向

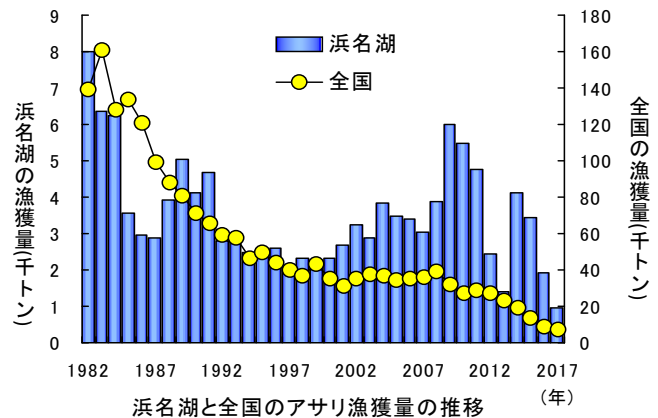
【資源】



浜名湖のアサリ資源状況を把握するため、2015年から湖内のアサリ主漁場における資源調査を実施しています。その結果や漁獲量の推移から、資源水準は低位、動向は横ばいと判断されます。

【漁獲量】

- 1 本県(浜名湖)のアサリ漁獲量は、1982年に7,832トンを記録しましたが、以降は全国と同様に減少傾向を示し、1992~2003年は年間2千~3千トンで推移しました。
- 2 2004年以降の年間漁獲量は3千トンを超え、増加傾向となり、2009年には6千トンを超えました。しかし、その後は大きく増減しながら減少傾向となり、特に2013、2016年は1千トン台まで減少し、2017年には統計史上初めて1千トンを下回っています。



【資源管理】

資源保護のため、漁業者は漁獲量(66kg/日・人)や殻長制限(約3cm以上漁獲)のほか、天然採苗・放流による母貝となるアサリの確保、被覆網設置による食害防除、食害生物(ツメタガイ)の除去など、積極的な資源増殖にも取り組んでおり、アサリ資源の回復に努めています。

担当者の一言：ニンニクとバターを入れた酒蒸しはおススメです。

問合せ先

静岡県水産技術研究所浜名湖分場 053-592-0139